

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム令和元年度第2回運営委員会議事要旨

- 1 日時：令和2年3月5日(木)13時30分～14時20分
- 2 場所：Web 会議システム ZOOM
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、岡島（清水副会長の代理）、前田（佐波委員の代理）、柳生、飯野、長瀬、安部（永井委員の代理）、中島、緒方、Li、遠藤
陪席者：平岡（セコム）、畑山（産業技術総合研究所）、中島（防災科学技術研究所）、前山（〃）、石濱（筑波大学）
事務担当：秋葉（筑波大学）、鈴木（〃）、根本（〃）（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議】

(1) 令和2年度年間活動計画（案）について（資料2）

遠藤委員より、資料2に基づき、令和2年度の活動計画案について説明があり、検討の結果、次のとおり承認された。また、遠藤委員より、外部向け活動強化の一環として、市民講座をつくばで、受験相談会は筑波大学東京キャンパスでの開催を検討している旨、説明があった。

<幹事会>

- 第1回：2020年4月6日(月)または4月7日(火)10:00～11:00 防災科学技術研究所 東京会議室
第2回：2020年9月 筑波大学筑波キャンパス 総合研究棟B棟1201室
第3回：2020年11月または12月 嘉ノ雅 茗溪館または筑波大学東京キャンパス文京校舎
第4回：2021年1月 防災科学技術研究所 東京会議室

<運営委員会>

- 第1回：2020年11月または12月 嘉ノ雅 茗溪館または筑波大学東京キャンパス文京校舎
第2回：2021年2月または3月 日本電気本社（田町）または玉川事業所（武蔵小杉）、またはスリーエムジャパン株式会社（相模原）

※開催地については、令和元年度第2回運営委員会開催予定地であったスリーエムジャパン株式会社と、日本電気株式会社のどちらで開催するかを今後検討の上、決定する。

<総会>

2020年5月25日(月) 筑波大学筑波キャンパス 総合研究棟B棟0110室

<つくばグローバルサイエンスウィーク>

2020年9月28日(月)～30日(水)のうち1日間 つくば国際会議場

※コンソーシアムとして参加する場合、第2回幹事会の同日開催を検討。

<シンポジウム>

2020年11月または12月 嘉ノ雅 茗溪館または筑波大学東京キャンパス文京校舎

※卓越大学院プログラムに採択された場合、卓越コンソーシアムと合同で12月頃に行う。

<リスク・レジリエンス工学学位プログラムオープンキャンパス>

2020年4月19日(日) 筑波大学筑波キャンパス

※第5回幹事会で遠藤委員より、林会長・甘利副会長に受験生を対象としたプレゼンの協力依頼があったが、林会長より、科学技術週間に実施を予定していた防災科研の一般公開中止に伴い、出席が難しくなった旨、報告があった。

(2) 事務運営に関する申合せの改正案について（資料3）

遠藤委員より、資料3に基づき、前回の運営委員会で承認された「事務運営に関する申し合わせ」に旅費支払いについて加筆する旨の説明があり、承認された。

(3) その他

なし

【報告】

(1) 令和元年度第4回幹事会（R1.10.25）について（資料4）

遠藤委員より、資料4に基づき、令和元年度第4回幹事会の議事について報告があった。

(2) 令和元年度第5回幹事会（R2.2.17）について（資料5）

遠藤委員より、資料5に基づき、令和元年度第5回幹事会の議事について報告があった。なお、次の意見交換があった。

（林会長）協働大学院についてのプレスリリースに関して、防災科研ではプレスリリースよりも「防災科研ニュース」に詳しく掲載するのが良いのではないかということになった。

（甘利副会長）本件についてはセコムでも対応を考えているため、防災科研で詳しく内容が固まってきたら連絡をいただけないか。

（林会長）前山氏の担当であるため、セコムと前山氏で進めて頂ければと思う。

（遠藤委員）もし他の参画機関でプレスリリースについての意見等があれば、事務局の鈴木・根本を通じて連絡をいただきたい。

(3) Joint Seminar 減災との共同シンポジウムの報告について（資料6-1～6-2）

遠藤委員より、資料6-1～6-2に基づき、令和元年10月25日に行われたシンポジウムについて、参加者数75名の内訳や、アンケート結果の報告があった。

(4) その他

なし

Ⅱ. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【報告】

(1) 令和2年度リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る

協働大学院教員及び非常勤講師について（資料7-1～7-2）

遠藤委員より、資料7-1～7-2に基づき、令和2年度協働大学院教員・非常勤講師の氏名等について報告があり、DNP 佐波氏を准教授（協働大学院）として新規任用予定である旨の説明があった。なお、次の質疑応答があった。

- ✓ (畑山氏) 産総研からは教員 3 名、非常勤講師 2 名を出しており、非常勤講師 2 名の委嘱状をまだもらっていないが、どうなるのか。
→ (遠藤委員) 筑波大学の総務担当より、近いうちに書類を提出する予定である。

(2) 第 184 回リスク工学研究会の報告について (資料 8)

遠藤委員より、資料 8 に基づき、リスク工学専攻博士前期課程の学生を対象に実施している「第 184 回リスク工学研究会 (令和元年 11 月 18 日開催)」において、DNP 佐波氏による講演が行われた旨報告があった。なお、企業の方からの講演は学生に大変好評なため、今後もコンソーシアム参画機関に所属する方から積極的に講演をいただきたい旨依頼があった。

(3) 協働大学院に関する協定について (資料 9-1~9-8)

遠藤委員より、資料 9-1~9-8 に基づき、参画機関との協働大学院に関する協定についての現時点での進捗状況の共有及び、3 月末には締結完了予定である旨報告があった。

(4) 卓越大学院プログラムについて (資料 10-1~10-3)

遠藤委員より、資料 10-1~10-3 に基づき、提案する「持続可能なレジリエンス社会を実現する人材育成プログラム」が学内選考順位 1 位として、3 月末公募締切に向け準備中である旨の報告とともに、プログラムを担当する協働大学院教員 12 名の個人調書作成に係る協力依頼があった。

(5) 令和 2 年度リスク・レジリエンス工学学位プログラムカリキュラムについて (資料 11)

遠藤委員より、資料 11 に基づき、令和 2 年度リスク・レジリエンス工学学位プログラムの科目のうち、協働大学院教員が担当する科目について説明があった。また、授業やカリキュラムについて参画機関から要望や提案があれば、積極的に事務局まで連絡頂きたい旨依頼があった。

(6) その他

- ✓ 今回初となった WEB 会議形式での運営委員会開催についての意見交換があった。各参画機関からは「前後に予定があっても出席できる (柳生委員)」「災害時に大いに活用したい (長瀬委員)」等、概ね好意的な意見が寄せられた一方で、「顔を合わせて情報交換をしたり、皆さんの業務を紹介して頂ける機会もあると良い (中島委員)」等の意見も寄せられ、今後は状況を踏まえて柔軟に使い分けを検討することとなった。
- ✓ 甘利副会長より、令和 2 年度の学位プログラム移行後の筑波大学リスク工学専攻の紀要について質問が寄せられ、次の意見交換があった。
(甘利副会長) リスク工学専攻の紀要は学位プログラムとしての紀要になるのか。コンソーシアム発の紀要になるのか。
(遠藤委員) 現時点では、学位プログラムとしての紀要を作ることを考えているが、コンソーシアムの紀要の希望があれば、整備することも検討する。
(林会長) 新たな紀要を作ることは大変手間がかかるので、その手間をかけるのであれば、ジャーナルに投稿する方が良いと考える。
(岡島：副会長代理) 個人的な意見としては、学位プログラムの紀要の中にコンソーシアム参画機関便りのような、コンソーシアム紹介ページを入れてはどうか。

以 上